

## IPO銘柄 トレックス・セミコンダクター (6616・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6616	100株	公募: 35.00万株 売出: 35.23株 (OA10.53万株)	4,500円~5,000円 (8.1倍)	野村證券



### 電源用ICなど各種アナログIC製品を開発・製造

#### ■ 事業内容

各種アナログIC製品の開発、製造を手掛ける。モバイル端末やパソコン、テレビ、カーナビ、一般家電などに用いられる電源用ICが主力。コイルやトランスを用いて効率的に電圧、電流を変換するDC/DCコンバータ、出力が一定電圧になるように制御するボルテージ・レギュレータ、高精度な電圧検出器であるボルテージ・ディテクタが主力製品で、LED (発光ダイオード) 照明用ICや電池充電IC、温度センサなども手掛けている。国内の生産委託先は筆頭株主でもあるフェニテックセミコンダクター、ルネサス北日本セミコンダクターが主。

#### ■ 特徴

現在の筆頭株主で生産委託先であるフェニテックセミコンダクターの子会社が源流。子会社を通じてアジアにおけるビジネスを拡大しており、14年3月期第3四半期累計 (13年4~12月) の販売実績では日本が29.2%、アジアが59.4%、欧州が6.1%、北米が5.3%となっている。海外売上高比率は約7割と高く、為替予約などを行っているものの、為替市場の影響を受けやすい体質となっている。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

14年3月期の連結経常利益は前期比3.2倍の14億1,300万円を見込む。国内は電子機器メーカー向けが低調だったものの、ウェートの高いアジアは販売代理店向けが好調。ただ、半導体市況、為替市場の影響が大きいビジネスモデルであり、業績面には安定感の乏しさも目立つ。

#### ■ 定性分析

業績面の変動が大きくなりそうな業態で、ビジネスモデルにも特段の目新しさはない。半導体関連企業はIPOマーケットで人気化しづらい傾向がある。パソコン向けの回復、スマートフォン (多機能携帯電話) 向けの拡大など材料はあるが、やや迫力不足。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約40億円。株主にベンチャーキャピタルはいないものの、公開株式ベースの吸収金額に荷持たれ感がある。東証1部上場案件が多い中で新興市場上場ではあるが、需給主導の初値形成は期待しづらい状況にある。(小泉健太)

#### ■ 類似企業

トレックス・セミコンダクター (6616・JASDAQ)	予想PER8.1倍 (仮条件上限)
サインエレクトロニクス (6769・JASDAQ)	予想PER84.9倍
アクセル (6730・東証1部)	予想PER22.0倍

#### ■ 引受証券

野村證券、みずほ証券、中銀証券、SMBC日興証券、SMBCフレンド証券、いちよし証券、丸三証券、極東証券、SBI証券、日本アジア証券、エース証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年3月期(実績)	9,160	—	3	—	-129	—	-56.4	—
13年3月期(実績)	8,600	▲6.1	444	—	191	黒転	83.7	15.0
14年3月期(会社予想)	9,270	7.8	1,413	3.2倍	1,413	7.4倍	616.6	40.0

※ 12年3月期から連結決算。13年12月に株式分割(1株→100株)を実施。12年3月期、13年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
12年3月期	22,921	10,285	6,068	984	2,636.2	58.7	—
13年3月期	22,921	10,566	6,406	984	2,781.4	60.3	3.1

※ 12年3月期および13年3月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	フェニテックセミコンダクター	440,000	18.14
2	尾崎 正晴	263,800	10.88
3	藤阪 知之	175,300	7.23
4	アルス	113,000	4.66
5	中国銀行	110,000	4.53
6	芝宮 孝司	91,100	3.76
7	仲 剛志	70,500	2.91
8	難波 善三郎	63,500	2.62
9	木村 浩	60,500	2.49
10	タツモ	50,000	2.06

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	藤阪 知之
常務取締役 事業本部長	芝宮 孝司
常務取締役 事業戦略室長	木村 浩
取締役 社長付特命担当	吉田 國太郎
取締役 品質保証部長	吉田 宝
取締役 管理本部長	日笠 基
常勤監査役	池田 耕太郎
監査役	川俣 尚高
監査役	清水 満昭

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者  
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会